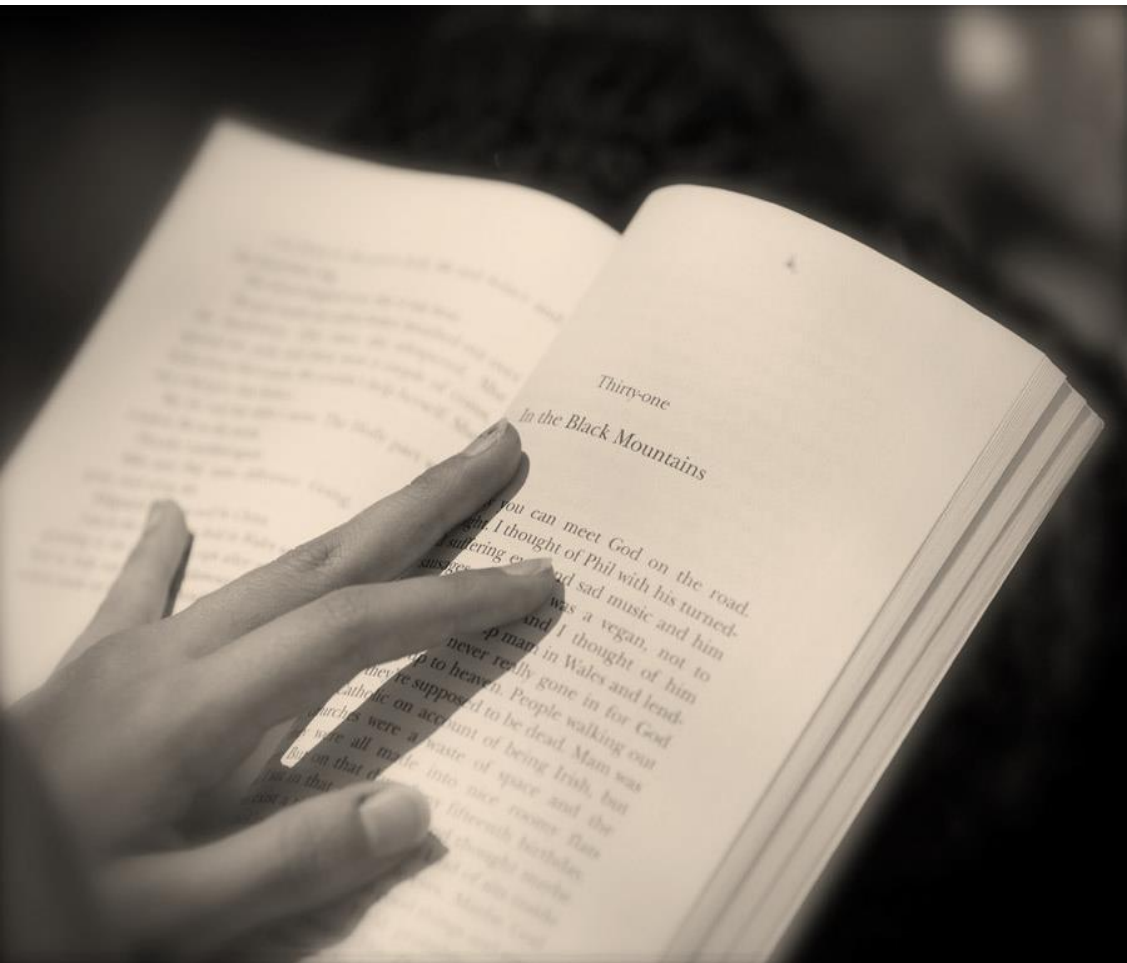


2020年度

君に薦める一冊の本



大阪工業大学図書館

「君に薦める一冊の本」とは…

先生方から学生の皆さんへの推薦図書です。

先生方の心の琴線に触れた図書や学生生活を送る上で役立つ図書、教養を深める図書など今年度も多数の図書を推薦していただきました。

勉強やクラブ・サークル活動など、忙しい学生生活の合間にぜひ手に取って読んでみてください。

皆さんの豊かな人格形成に役立つことを願っています。



君に薦める 一冊の本

目次

| | | |
|-------------|-----------|----|
| 応用化学科 | 村田 理尚 先生 | 3 |
| 一般教育科 | 長谷川 尊之 先生 | 4 |
| 総合人間学系教室 | 大塚 生子 先生 | 5 |
| 総合人間学系教室 | 瀧川 宏樹 先生 | 6 |
| 総合人間学系教室 | 清川 祥恵 先生 | 7 |
| ロボット工学科 | 横山 香奈 先生 | 8 |
| システムデザイン工学科 | 瀬尾 昌孝 先生 | 9 |
| 空間デザイン学科 | 益岡 了 先生 | 10 |
| 情報システム学科 | 雨宮 徹 先生 | 11 |
| 情報メディア学科 | 田岡 育恵 先生 | 13 |
| 機械工学科 | 宮部 正洋 先生 | 15 |



応用化学科

村田 理尚 先生

『炭素文明論』

—「元素の王者」が歴史を動かす—

佐藤 健太郎著

新潮社

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|------------|----------|
| 大宮本館 | 435.6 S | 91200347 |
| 梅田分館 | 435.6 S | 97200083 |
| 枚方分館 | 435.6 S | 98200563 |

著者の佐藤健太郎さんは、製薬企業の研究者をされてから、サイエンスライターに転身され、東京大学の化学系の広報担当としてもご活躍されました。

いろいろな本を執筆されていますが、サイエンスはすごい！化学って面白い！と感じてもらえるように、この本を選びました。

「炭素」は地上にわずか0.08%しかない元素。本書では炭素と世界史というユニークな視点から、デンプンや砂糖など、読者の関心を引く化学素材について、ぜひ知ってほしい人類の大切な物語がまとめられています。

化学の教養にもなりますので、自信をもって推薦します！



一般教育科

長谷川 尊之 先生

『十二番目の天使』

オグ・マンディーノ著

坂本 貢一訳

求龍堂

NO
PICTURE

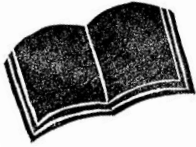
| | 請求記号 | 資料ID |
|------|------------|----------|
| 大宮本館 | 933 M | 10103892 |
| 梅田分館 | 933.7 M | 97200070 |
| 枚方分館 | 933.7 M | 98010361 |



この物語は人生に絶望していた男性が少年野球チームの監督を務めることになり、チームメンバーとの関わりを通して活力を取り戻していく話です。

作中でポジティブな自己暗示のフレーズが繰り返し登場することが印象的です。

「困難な状況にあっても前向きに力強く生きる姿勢は、周りの人の人生をも豊かにする」、この本はそれを教えてくれました。



総合人間学系教室

大塚 生子 先生

『82年生まれ、キム・ジヨン』

チヨ・ナムジュ著

齋藤 真理子訳

筑摩書房

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|-------------|----------|
| 大宮本館 | 929.13 C | 91191987 |
| 梅田分館 | 929.13 C | 97200164 |
| 枚方分館 | 929.13 C | 98200545 |

一言でいえば、韓国に生きる一人の女性の人生を回顧する、大した盛り上がりもない普通の小説です。でも一度読んでみてください。違和感を感じませんか？感じなかった人は、大宮キャンパス7号館8階の大塚の研究室へ！

本書はもともと韓国でベストセラーになったということで私も手に取って見たのですが、前知識なしに読み始めて、読んでいる間中、不快でたまりませんでした。

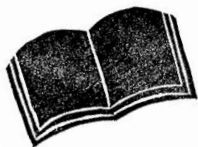
決して楽しい、前向きな気持ちになるような小説ではありません。けれども、現状を反省し、未来への変革の意識の原動力になるものです。女子学生はもとより、男子学生諸君にこそ読んで考えてみてもらいたいと思っています。

これは、あなたのお母さん、おばあちゃんが、似たような形でたどってきた人生です。

そしてもし無意識でいたら、あなた自身やあなたのパートナーが(よりマイルドな形であっても)たどる(たどってきた)かもしれない人生です。

あなたには関係ないですか？

関係ないと思った人も、大塚の研究室へ！



総合人間学系教室

瀧川 宏樹 先生

『ブロード街の12日間』

デボラ・ホプキンソン著

千葉 茂樹訳

あすなろ書房

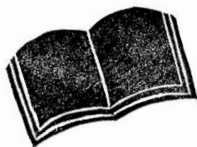
NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|----------|----------|
| 大宮本館 | 933.7 H | 91200797 |
| 梅田分館 | 933.7 H | 97200168 |
| 枚方分館 | 933.7 H | 98201249 |

新型コロナウイルスの感染が拡大し、「ペスト」への注目も高まっています。イギリスのヴィクトリア朝には「コレラ」が流行り多くの方が感染し命を落としました。

感染源が分からず「青い恐怖」と呼ばれたコレラの大元を突き止めたジョン・スノウ博士の実話を、イールという架空の労働者階級の少年の活躍を交えつつ書かれた児童文学です。

児童向けとはいえ、当時の貧困や衛生などの社会背景も盛り込まれ、コロナ禍に生きる私たちにとって決して他人事ではない問題がミステリー仕立てで描かれ、楽しく読める一冊です。



総合人間学系教室

清川 祥恵 先生

『ドゥームズデイ・ブック』

コニー・ウィリス著

大森 望訳

早川書房

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|---------------------|----------|
| 大宮本館 | (上) 933.7 W 上 | 91200629 |
| | (下) 933.7 W 下 | 91200615 |
| 梅田分館 | (上) 933.7 W 上 | 97200111 |
| | (下) 933.7 W 下 | 97200112 |
| 枚方分館 | (上) 080 H | 98200676 |
| | (下) 080 H | 98200677 |

タイムスリップ技術が確立された近未来の英国で、調査のため14世紀に向かった史学生が、黒死病の流行中に投げ出されます。

彼女を無事「現代」に戻そうとする教授たちにも新型感染症が降りかかり、奮闘する過去と現代の登場人物たちの姿がスリリングに描かれます。

今も昔も人々が未知の病の恐怖・脅威と戦い続けていることや、こうした病禍に立ち向かう人々の勇敢さ・献身などが、今いっそう鮮烈に感じられる作品となっています。



ロボット工学科

横山 香奈 先生

『エリア・スタディーズ』シリーズ

明石書店

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|--------------|--------------------------------------|
| 大宮本館 | 302.2588 H | 91181702 (現代ブータンを知るための60章/平山修一著) |
| 梅田分館 | 電子ブック | 97169145 (現代スペインを知るための60章/坂東省次編著) |
| 枚方分館 | 302.246 Y | 98060632 (東ティモールを知るための50章/山田満編著) |

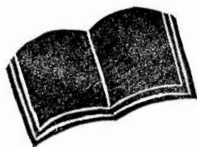


※上記以外にも国や地域を知るための図書があります。

世界各国・地域の成り立ち、文化、歴史、経済などの概要をわかりやすく解説した入門書のシリーズです。「ハワイを知るための60章」、「カンボジアを知るための62章」など「～を知るための…章」というタイトルで、現時点で228冊が出版されています。

各章が短く簡潔にまとめられているので隙間時間にも読みやすいと思います。

関心のある地域はもちろんのこと、あまり馴染みのない地域の見識を深めるのにもオススメのシリーズです。



システムデザイン工学科
瀬尾 昌孝 先生

『ユダヤ人大富豪の教え
幸せな金持ちになる17の秘訣』

本田 健著
大和書房

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|-----------|----------|
| 大宮本館 | 159 H 1 | 91201051 |
| 梅田分館 | 159 H | 97200201 |
| 枚方分館 | 080 D 1 | 98171486 |

「幸せな金持ちになる」とタイトルにあります。この本の中身は決してお金持ちになったり、仕事で成功するためのものではありません(そういう意味では役に立たないかも)。

なんとなくやる気が出ない毎日が続いてしまっている人には、これからの自分を考えてもらう良いきっかけになると思います。内容には賛否が分かれると思いますが、そこも含めて今後の目標を考えるきっかけになれば幸いです。



空間デザイン学科
益岡 了 先生

『漫画 働くということ』

黒井 千次原作
池田 邦彦漫画
講談社

NO
PICTURE

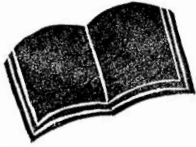
| | 請求記号 | 資料ID |
|------|---------|----------|
| 大宮本館 | 366 K | 91200303 |
| 梅田分館 | 366 K | 97200080 |
| 枚方分館 | 366 K | 98200525 |



働くことは勉強と大きく違います。ですから大学に進学することと、就職することはまったく性格が異なります。

また働くことには、単なる賃金の対価としての労働と捉えがたい何かがあります。

そのことに気づくのは働くことが欠かせませんし、そのことが皆さんの人生の新たな出会いになることを願っています。



情報システム学科

雨宮 徹 先生

『友がみな我よりえらく見える日は』

上原 隆著

幻冬舎

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|--------|----------|
| 大宮本館 | 916 U | 91200695 |
| 梅田分館 | 916 U | 97200118 |
| 枚方分館 | 080 G | 98200718 |

登校拒否になった人。夫に浮気をされた人。怪我で失明をした人。容姿にコンプレックスを持つ人。離婚をして一人で暮らしている人。売れない役者の人。うつ病になった人。

生きづらさというものは、たとえ他人から見て大した問題には見えなくても、当人にとっては抜き差しならないものだ。そうした普通の人を持つ普通の苦悩についての話に著者の上原は光を当て、静かに耳を傾ける。

彼は相手の話を妙な美談に仕立て上げることもなく、大上段に構えて社会問題として論じることもなく、聴いたままをまっすぐに語り出す。すると不思議なことに、あの人やこの人の生きづらさが、人間が紡ぎ出す小さな、そして美しい物語として輝き出す。

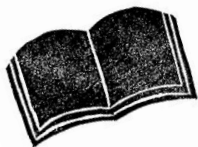
自分は立派に生きられてはいないという思いで疲れ切ったとき、決して立派ではない自分や他人の人生への慈しみをしみじみと感じさせてくれる、稀有な一冊である。

『ぱぴろにくす』とは？

- ・年に3回発行されている図書館報です。
- ・書物としての原点を忘れず、しかも近代的なイメージをミックスさせた「パピルス」と「エレクトロニクス」の合成語です。
- ・図書館からの連絡や広報を行うほか、学生、教職員の皆様とのコミュニケーションの場を提供します。
- ・『ぱぴろにくす』は発行の都度、図書館内に置いています。また、下記のQRコードからでもご覧いただけます。

☆次のページからは、『ぱぴろにくす』で掲載された書籍を紹介しています。





情報メディア学科

田岡 育恵 先生

『アフロ記者』

稲垣 えみ子 著

朝日新聞出版

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|----------|----------|
| 大宮本館 | 304 I | 91200885 |
| 梅田分館 | 304 I | 97200200 |
| 枚方分館 | 080 A | 98200968 |

著者は朝日新聞の記者を50歳で辞め、福島原発事故以来、電気に頼らぬ生活ということで、エアコンなし、洗濯機なし、掃除機なし、冷蔵庫も手放したというような人です。

極力、電気に頼らぬ生活をしている著者が冬の寒さを凌ぐのは「湯たんぽ」だけなのですが、そのような生活の中で苦手だった「寒さ」が気にならなくなったと書いています。

『暖房に頼っていたころ、寒さは全面的に排除すべき敵であった。暖房をやめると、その敵と共存しなくてはいけない。そうすると、敵の中になんとか「よいところ」を見つけるしかない。それはたとえば、こんなことだ。寒い外から首をすくめて帰宅すると、誰もいない家でも少しだけ暖かい。この小さな幸せを胸に台所へ向かい、湯を沸かす。火と蒸気でまた少し暖かくなる。錫のチロリに日本酒を満たし、湯で爛をつける。十分熱くなったところでぽってりとした猪口に注ぎ、そっと口をつける。このうまさといったら！暖房の利いた部屋で、これほどの幸福は味わえまい。私たちは経済成長とともに「ある」

幸せを求めてきた。金がある。電気がある。暖房がある。ああ幸せ！それに慣れると「ない」ことを恐れるようになる。でも実は、「ない」中にも小さな幸せは無限に隠れているのだ。』

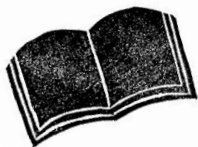
私たちは、自分の好きではない人や状況について託つことがありますが、困ったと思う状況の中でも何か楽しいことはあるはず！という考えには心励まされる気がします。もう一つ気に入った個所を引用します。

『わかってきたのは、本当に言いたいことは、その人のどうしようもない弱さやコンプレックスから出てくるということだ。解決のつかない問題を抱えて苦しんでいる人は、たとえ意識しなくてもその答えをいつだって求めている。いやそれは何だっていいんだよ。モテないとか親との関係が悪いとか、上司にいじめられているとか。人生はだいたい苦しみでできている。で、肝心なのはそれをスマートに解決したり見えて見ぬふりをしたりすることじゃない。じっと抱えることだ。苦しんでいる人は、何を見ても、誰に話を聞いても、解決のヒントになりそうなものは見逃さない。そしてわずかでも光を見出した時、もう本当に心から共感し、そのことを誰かに必死で伝えようとする。そして、その文章は同じように弱さを抱えた人を救う。』

ここを読んで、自分に苦手だと思うこと、コンプレックスがあるというのは、案外、いいことなんじゃないかなと思い始めました。気になる弱点があればこそ見えてくることがある。他人の辛いところにも共感できる。もちろん、コンプレックスに囚われ過ぎてて身動きできなくなるというのはよくないですが、不得手なことがあるのも、どこかで自分のためになるのではないかと思います。

私が著者に共感するのは、上から目線ではなく、弱者の立場から、それでもめげずに人生を楽しもうとする姿勢です。どんな時でも毎日を明るく過ごすことは可能だという勇気をこの本は与えてくれるように思います。

※図書館報『ぱぴろにくす』113号にご寄稿いただきました。



機械工学科

宮部 正洋 先生

『CONTACT』

カール・セーガン著
高見 浩, 池 央耿訳
新潮社

NO
PICTURE

| | 請求記号 | 資料ID |
|------|-------------------|----------|
| 大宮本館 | (上) 933 S * | 18605208 |
| | (下) 933 S *** | 18604734 |
| 枚方分館 | (上) 080 S 上 | 98970553 |
| | (下) 080 S 下 | 98970554 |

※枚方分館は文庫本を所蔵

学生の皆さんにお薦めしたい本は山ほどあるので一冊を選ぶとなると、とても難しいのですが、悩んだ末にカール・セーガンの『CONTACT』を選びました。それは、私にとって一つのハブを形成しているものだからです。

ところで、大阪工大の工学部が考えるリベラルアーツとは？
(<https://www.oit.ac.jp/human/subject/liberalarts.html>)に以下の記述があります。

『AIやロボット工学の最先端技術の領域においても、ただ闇雲に技術開発を進める力ではなく、上述の階層社会化を回避する社会デザインへの配慮や、多様性を持った社会を俯瞰する文理融合的な思考のセンスや解決能力が求められるはずです。

こうした物事の捉え方や、解決能力の基礎をなすものがリベラルアーツです。』このような力を身に着けることが求められています。

さて、私が本を沢山読んだのは、大学生の頃です。竹内均先生が提案された、「つるつる読み書法」を実践していました。

何かに対して強い思い入れがなかった私は、その時その時の興味の赴くままに様々な種類の本を読みました。本を読み進めると、その中で引用される言葉、思想や人物等々、何かとても惹かれるものが現れます。そんなときに読んでいた本をちょっと脇に置いて、今、新たに興味を持ったことに関する本を探して読み進めてゆくというスタイルでした。読み疲れると、全く別のジャンルの本を読んで気分を変えたりしていたため、数冊の本を平行して読んでいました。そのように過ごしていた頃にカール・セーガンのSF小説、『コンタクト』に出会いました。

地球外知的生命体からの信号に素数が使われているという設定を読んで素数に興味を持ち、リーマン予想やゼータ関数について調べ、わかっていること、わからないことを知ることで数学の美しさ、面白さに触れることができた気がしました。

また、主人公が宇宙からの信号を受信したと公表したことで、政治、科学と宗教が複雑にからんで物語がダイナミックに流れて行く過程や、研究と実学とのせめぎ合いなどの描写がとても魅力的で興奮しました。人々の考え方となる根本的なものに惹かれ、哲学、現代思想や文化人類学について興味深く調べました。もちろん浅い知識を部分的に得たにすぎないのですが、以前から気にかけていたことを少し深堀すると成長した気になりました。

さらに、宇宙からの信号の暗号を解読すると輸送装置の設計図であることがわかりました。時空間の連絡通路としてワームホール、ポッドが落下する時間の説明には相対性理論が使われており、宇宙論にも興味を持ちました。平たく説明している入門書から専門書まで読み、相対性理論や量子力学について調べました。双子のパラドクス、タイムマシン、シュレディンガーの猫やアインシュタイン対ボーアの論争など、とても興味深い話題に事欠かないことから、多くの関連書籍を楽しく読むことができました。

『コンタクト』は様々な分野に対する好奇心を刺激する内容になっていると思いますので、異次元空間で皆さんとリベラルアーツを引き合わせ、それぞれの固有振動数で大きく共振するのではないかと思います。

※図書館報『ぱぴろにくす』114号にご寄稿いただきました。



推薦いただいた図書は各キャンパス図書館の「君に薦める一冊の本」コーナーに展示しています。その他、お気軽にスタッフまでお尋ねください。

各館の展示風景



大宮本館



梅田分館



枚方分館

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。



☆借りたい図書が貸出中の場合は以下の方法で 予約、または取り寄せができます！

【図書の予約】

- ①Web OPACで図書を検索します。図書が「貸出中」であることを確認し、右側の「予約」をクリックして「ログイン」します。
所蔵館の図書のみ可能です。
- ②予約依頼画面で資料情報を確認し、間違いがなければ、[申込]をクリックしてください。
予約確認画面が出るので、[決定]を押すと予約完了です。
- ③予約した図書が返却されると図書館からお知らせのメールが個人の学内アドレスへ届きます。こまめにメールをチェックしてください。

【Web OPACから図書の取り寄せ】

- ①Web OPACで図書を検索します。図書が所属館にないことを確認します。
- ②My Libraryのログイン画面が出てくるので、ログインをすると専用の申込画面が出てきます。
- ③本のタイトルと自身の氏名が間違えていないかを確認してください。
- ④送付方法は普通か速達か選択できます。学外からの取り寄せの場合のみに適応されます。
※速達は速達料金がかかります。
- ⑤入手範囲は学園内で取り寄せられる場合は送料が掛かりません。学園内の図書館がなく、国内・海外から取り寄せた場合は送料がかかります。状況によってお選びください。
- ⑥支払区分は私費になっていますが、学園内では費用はかかりません。

詳しくはQRコードより図書館クイックガイドの「閲覧編②」(図書の予約)と「相互利用①」(図書の取り寄せ)をご覧ください。





常翔学園

みらいをつくる つたえる まもる。

大阪工業大学

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY